

なかよし八媛

No.57

発行：NPO法人 まなびと八媛（八女市立図書館内）
住所：〒834-0031 八女市本町 536-3
電話：0943-22-2504 <2020年12月発行>

八女市立図書館には
お得なことがいっぱい！

GO TO としょかん

COMET



その1

図書や雑誌の貸出点数には制限がありません。ただし、貸出期間は2週間なので、その間に読める冊数を借りればOK！もし、読めなかったら、貸出延長という方法もあります。（詳しくは、なかよし八媛No.56、八女市立図書館HPなどをご覧ください）

CDやDVDは3点まで1週間の貸出期間ですが、これも貸出延長ができ、便利です！

その2

八女市立図書館には本館をはじめ、5つの分館があります。それぞれの館で特長のある蔵書になっていますので、いつもとは違った本との出会いがあるかもしれません。蔵書検索は、館内OPAC（検索用端末）や図書館HPでできます。各館からお取り寄せした本は、お近くの館で返却できるなど、便利なことが満載です。

その3

八女市立図書館には、3台の移動図書館車が走っています。

「ほんの森ぶっくるん」→旧八女地区
立花地区

「ゆめみらい号」→上陽・黒木・矢部地区

「走るゆめのブックランド号」→星野地区

月一回程度、指定の施設を巡回訪問しています。巡回場所などは図書館HPに掲載していますので、ご確認ください。



その4



八女市立図書館本館は、平日は夜8時まで開館しています。夜の時間は駐車場も比較的空いていますし、静かなのでゆったりと本を選べますよ。

その5

本や雑誌のほかに、新聞や電話帳の閲覧ができることはご存知ですか？新聞は6紙（西日本、毎日、読売、朝日、日経、産経）その中でも読売新聞は、昭和41年1月～昭和57年12月は筑後版のみ、それ以降の分はすべて保存しています。電話帳は九州全県分が閲覧できます。

その6

本館2階には、坂本繁二郎（洋画家）資料室、山本健吉（文芸評論家）資料室があります。一度見学してみませんか。見学は無料、午後6時までです。

その7



年末年始は、長期のお休みがあります。その間は貸出期間が、図書・雑誌は3週間、CDやDVDは2週間です。いつもより長く借りれるので、年末年始はゆっくりと読書できますね。

楽しいことが
いっぱいの
としょかんへ
GO!

テーマ図書もみてね

八女市立図書館本館では、玄関正面や児童コーナーに月ごとに様々なテーマで図書を展示しています。今回は長期で展示しているテーマ図書をご紹介します。

ドラマ・映画の原作

最近放送されたドラマ、封切りされた映画の原作を集めています。「読んでから観るか、観てから読むか？」あなたは、どちら派ですか？



本好きのおすすめ本

図書館の利用者さんと八女市立図書館司書のおすすめの本です。いろいろなジャンルの本をおすすめしています。あなたのおすすめの本も受付中です！

借りてみて！ 分館の本

分館には、本館とはまた違った本もたくさんあります。定期的に分館から取り寄せをして、このコーナーで展示、貸出ししています。



第15回古本市をしました

令和2年10月31日(土)、八女文化会館にて「古本市」を行いました。第15回目となった今年は、コロナウイルス感染症対策を行ないながらの開催となりました。

開催時間前からたくさんの方にご来場いただき、検温、消毒、人数制限にご協力いただきました。会場内では、おうち時間を楽しむための一冊など、それぞれに思いを巡らせながら本を選ばれている様子でした。

コロナ禍の中、今年は開催できるだろうか…と心配しながら準備を進めてきた古本市でしたが、たくさんの方のご来場、またこの古本市のために本を提供していただいた皆さま、ありがとうございました。

今回の古本市での収益金は、八女市立図書館の本の購入などの読書啓発事業に活用させていただきます。詳細は追ってご報告させていただきます。

たくさんのご来場
ありがとうございました。



『ゆめみらい図書館』の愛称をもつ黒木分館は「黒木開発センター」1階にあります。駐車場も広く、周囲には矢部川沿いの遊歩道や地域交流センター「ふじの里」があり、散策コースの寄り道ポイントとしてもご利用いただける環境です。

蔵書は約40,000点。木のぬくもりに満ちた館内に入ると、曲線をえがいた大きな絵本書架とボランティア「虹の会」さんが制作されたタペストリーの数々が目に飛び込んできます。子どもたちのための“おはなしコーナー”や、中高生が落ちつける“ティーンズ・ルーム”を設置し、春には桜、秋には紅葉を楽しむことができる眺望もあります。第一週と第四週の土曜日10:30からは、おはなし会も開催しています。

さらに、空色の移動図書館車「ゆめみらい号」は、約1,300点の本を載せて、黒木・上陽・矢部地区の33ヶ所のステーションを月に一度巡回しています。一般の方々にご利用いただけるステーションもありますので、お見かけの際はどうぞお立ち寄りください。



ちょっと講談ばきいてみらんの を開催しました

令和2年10月24日(土)、おりなす八女小ホールにて「ちょっと講談ばきいてみらんの」を開催しました。神田紅主宰福岡紅塾塾生のザ・紅一ズのみなさんにご出演いただき、古典を中心に3つの演目を披露していただきました。講談を初めて聞いたという方も多く、素晴らしい熱演に「生の講談を聞いて感動した」「独特の語り調にうっとりした」と大絶賛の感想をたくさんいただきました。また、合間のマジックショーではマジシャンさんながらのマジックに会場が笑いの渦に包まれ、暗い話題の多いコロナ禍の中、楽しいひと時となりました。会場では講談関連本の展示、貸出も行ないました。

日本伝統芸能のひとつである講談。実際にその話芸に触れ、またその豊かさを本で深めていただくことができ、多くの方に図書館へ足を運んでいただくすばらしい機会になったと思います。

『伊達家の鬼夫婦』
金印亭紅然



『八女にある寺坂吉右衛門の墓』
金印亭紅雀



義士伝より『南部坂雪の別れ』
金印亭恵紅



郷土の新刊

『奥八女矢部峡谷の棚田考』

牛島頼三郎/著 梓書院

矢部の棚田はいつ頃、誰が、どのようにして拓いたのか。独自に行なってきた調査・研究に基づいて、険しい山間に棚田を拓き、逞しく生きた祖先の歴史を語る。『村』連載を書籍化。著者の牛島さん(写真下)よりご寄贈いただきました。

